



学習発表会 開催！ 課題研究&トライ

2月3日、卒業を目前に控えた4年生の「課題研究」と、全校生徒が縦割りグループで学年を越えて取り組んだ「トライ」の研究成果を発表しました。

「課題研究」では、「総合的な探究の時間」をより発展させ、農業科・家政科の4年間の学習成果の集大成として1年間の研究活動に取り組みました。

農業科の、「トマトとクローバーのコンパニオンプランツによる栽培」というテーマでは、トマトとクローバーを一緒に栽培した場合の害虫の抑制や食味に与える効果について発表し、「ニンジンの移植栽培～限られた栽培面積を利用して～」というテーマでは、ニンジンの収穫量や規格外野菜の発生割合に対する影響について、直播き栽培と移植栽培を比較して発表しました。家政科からは、「みわデニについて」と題して、クロワッサンづくりの困難さから目標を転換して、ディッシュ食パンづくりの成功につながったことなどが報告されました。

「トライ」では、グループの研究テーマに合わせて、プレゼンテーション、演技、展示・ポスターセッションなど、それぞれの研究テーマに応じた、多彩な方法で成果の報告がありました。

今回の学習発表会では、どのグループも「失敗や上手くいかなかったことを次に活かす」ことを大切にし、「いろいろな意見や工夫を大切にして、次につなげていった」ことが、大きいと思います。今年度の成果を、様々な形で来年以降の研究に引き継いでいきたいと思っています。



京都フロンティア校研究成果発表会 出場！



2月4日、京都市左京区松ヶ崎にある京都工芸繊維大学で、京都フロンティア校研究成果発表会が開催されました。午前中の他の府立高校のプレゼンテーションによる発表の後、三和分校は、午後からのポスターセッションで家政科の生徒が発表しました。

農業科が栽培した野菜のうち、規格外として販売できないもの…これまで、処分してしまうしかなかったのですが…これらを食材として、家政科が開発した商品「したるさかいに」では、

もったいない！ を おいしいね！

これを合言葉に、1回4分間の発表に取り組みました。「いくらで販売していますか？」、「発表にあった肉じゃがのほかに、何が作れますか？」、「賞味期限は何日ありますか？」、「家政科では、他にどんなものを作っていますか？」といった質問に対し、ていねいに回答することができました。実際の商品と大きさと重さを合わせた「したるさかいに」のレプリカパッケージを手にもらったところ、ずっしりくる重みに、「価格以上の価値」を実感してもらえるなど、三和分校の強みである農業科と家政科のコラボの成果を大きく発信できました。

